



「父親とよく遊ぶ傾向のある子どもは、情緒性、社会性、自発性が高いことが実証されています」

お父さんたち、子どもと遊んでいますか？



## 父親の役割

この「青少年育成センターだより」、読んでいただいているお父さんに良い話を一つ紹介しましょう。

家内の足の裏をもむことになった。家内をもらって38年目、家内の足の裏を見たのは初めてのこと。少しは可愛らしい足の裏だろうと思っていたら、指がひろがり、がめつい足の裏。

家に来てくれた時は、もう少しは可愛らしい足の裏だったのだろうが、山奥の私の家へやって来て、毎日毎日、お仏飯を炊く薪を拾いに山に通い、私に代わって、畑を耕し、作物を作り、肥しを運び、やっているうちに、こんな足の裏になってしまったのだろう。気がついた時には、本気で手を合わせていた。初めて本当の家内にであった気がした。

（東井義雄一日一言 致知出版社）

東井先生（“教育界の国宝”と呼ばれた教育者）の奥さんに対するやさしい思いが伝わってきますね。私も、結婚して、四十数年経ました。「大切にしなければ・・・」と反省させられたところ。みなさんは、いかがでしょうか。「仲良き事は美しきかな」と武者小路実篤も言っています。夫婦、仲良くしたいものです。

子どもが一番悲しむことは何でしょうか。それは、お父さんとお母さんがけんかをしている姿を見ることです。そんな姿を子どもには見せないようにしなければなりません。長く一緒に生活している夫婦でも意見が対立することがあります。意見が違ふ時はどうして親が解決するのか、その姿を子どもは見えていないようで見ています。このような親の姿を見ることで子どもにとっての「生きる力」が育まれるのです。

「子育ては母親の責任」「子どもがうまく育っていないのは母親のせい」などという考えをしておられるお父さんは、今は少ないのではないのでしょうか。子育ては母親に任せて、お父さんは働いていればいいと考える人は少なくなり、今のお父さんたちは、積極的に子育てに携わっておられることでしょうか。

ここで、父親として子育てで大事にしていくことについて考えてみましょう。

### 1つは、夫婦仲良くして、二人が笑顔でいること

仲の良いお父さんとお母さんの姿を見ることで、子どもは安心し、安定します。そして、お父さんとお母さんの笑顔を見れば、子どもは甘えることができ、何でも相談できるようになります。夫婦仲が良い家庭は、会話の多い家庭になることでしょうか。

### 2つ目に、子どもと一緒に遊ぶこと

皆さんも、子どもの時にお父さんに遊んでもらった思い出はよい思い出として残っていることでしょうか。遊びは、外でするスポーツでも室内でのボードゲームでもいいのです。会話しながら一緒に楽しみましょう。仕事は忙しくても、時間を見つけて遊ぶことで子どもは、「お父さんは自分のことを大切にしてくれている」ということを感じ、父親への信頼につながります。

### 3つ目に、子どもとコミュニケーションをとること

学校であったことを聞いたり、父親がどんな職場でどんな仕事をしているのか等の話をしましょう。いろいろな内容の話があります。時間は、お風呂に一緒に入っている時とか、食事をしている時など、まとまった時間でなくても短い時間でいいのです。

頑張れ！！お父さん。